

原発と自然エネルギー、 どっちが経済成長?!

シンポジウム 2014

金子勝さん（慶大教授）による基調講演とパネルディスカッション

●日時：11月15日（土）
13：00～16：30（開場 12：30）

●会場：市ヶ谷・JICA 地球ひろば 6階
セミナールーム 600号室

金子 勝（かねこ まさる）

Profile



経済学者。慶應義塾大学経済学部教授。制度経済学、財政学、地方財政論を専門とする経済学者。提言は、歴史的見地からの現代経済の位置、不良債権問題、企業改革、社会保障や地方分権化など幅広い分野に及ぶ。講演では、世界経済の動向、日本の政治・経済の現状をベースに、企業経営の今後のあり方を鋭く読み解く。著書に『新・反グローバリズム 金融資本主義を超えて』（岩波現代文庫）、『「脱原発」成長論 新しい産業革命へ』（筑摩書房）、『失われた30年 逆転への最後の提言』（NHK出版）、最新刊『原発は火力より高い』など多数。

Profile

遠藤 由美子（えんどう ゆみこ）

昭和24年福島県三島町生まれ。平成9年、奥会津地域の文化の掘り起こしと継承を目的に、有志の出版グループ「奥会津書房」を設立。代表兼編集長。主な出版物に、効率や経済一辺倒の社会に一石を投じる『自然からの伝言』『森に育まれた手仕事』等奥会津文化シリーズ5部作・『会津学』シリーズ（会津学研究会編）『イザベラ・バードの会津紀行』（著者：赤坂憲雄他）等。福島県教育委員（2008年10月～2012年10月）会津自然エネルギー機構理事



神田 香織（かんだ かおり）

Profile



福島県立磐城女子高卒業後、東京演劇アンサンブル、渡辺プロダクションドラマ部を経て昭和55年神田山陽門下生となる。

二ツ目以降、ジャズ講談や一人芝居の要素を取り入れた神田香織独自の講談「ピリー・ホリディー」「はだしのゲン」「チェルノブイリの祈り」「哀しみの母子像」「福島の祈り」などを次々発表、講談の新境地を切り開いている。



Program

福島第一原発の事故から3年が過ぎ、いまだに汚染水や放射能は漏れ続け、廃炉に向けた作業も遅々として進んでいません。原発に莫大なコストがかかることは、この間明らかになってきました。しかし、火力電力のために電気料金は上がり、再稼働したほうが経済的、という論も聞かれています。本当にそうでしょうか？ 自然エネルギーはコストが高いのでしょうか？ 原発に代わるエネルギーは何か良いのでしょうか？ 今後は脱原発の動きと併せて、新たなエネルギーについても考えていかなければなりません。ぜひ、一緒に考えていきましょう。

1部 ■ 基調講演

金子勝さん（経済学者、慶應義塾大学経済学部教授）

経済学者であり、「原発は火力より高い」の著者である金子勝さんによる講演から、原発に関するコストを改めて考えます。

2部 ■ パネルディスカッション

「福島発ご当地電力の可能性～自然エネルギーが拓く地域の未来」

遠藤由美子さん（奥会津書房編集長）／金子勝さん／神田香織理事長

原発の被害を受けている福島県の中でも、自然エネルギーの動きが生まれています。「会津地方の豊かな自然エネルギーを活用し、地域の自立を目指す」と宣言して、福島県会津地域の市民が「会津電力株式会社」を設立しました。そのメンバーであり、会津の文化を通して多岐な活動に関わる遠藤由美子さんにも加わっていただき、より広い視点からパネルディスカッションを開催します。

●日時：11月15日（土）

13:00～16:30（開場 12:30）

●会場：JICA 地球ひろば 6階

セミナールーム 600号室

東京都新宿区市谷本村町 10-5



主催：NPO 法人ふくしま支援・人と文化ネットワーク

HP <http://www.support-fukushima.net/>

問合せ p-c-netw311@nifty.com

TEL 090-2171-4971

11/15（土）シンポジウム「原発と自然エネルギー、どちらが経済成長?!」参加申込書
Fax(045-392-8043) またはメール (p-c-netw311@nifty.com) にてお申し込みください。

お名前	
所属	
ご連絡先	

☆受付確認は特にお送りしません。当日会場においでください。